



# 資産運用をお考えの お客さまへ

## 重要情報シート

金融事業者編

### 重要情報シート(金融事業者編)とは？

お客さまの中長期的な資産形成・資産運用にあたっての重要な情報を分かりやすくご提供することを目的として作成しており、金融商品の販売会社である当行の基本情報、取扱商品、商品ラインアップの考え方等を記載しております。お客さまにとってふさわしい商品を選択する際にお役立てください。

# 一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る 「重要情報シート」(金融事業者編)

## 1 当行の基本情報 (当行はお客様に金融商品の販売または販売仲介する者です)

社名	株式会社富山第一銀行	当行の概要を記したウェブサイト
登録番号	北陸財務局長(登金)第7号	https://www.first-bank.co.jp/outline/ 
加入協会	一般社団法人全国銀行協会 / 日本証券業協会	

## 2 取扱商品 (当行がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

円預金	○	外貨預金(投資性あり)	○
国内株式	○ ※1	外国株式	○ ※2
円建債券	○	外貨建債券	○ ※1
特殊な債券(仕組債等)	○ ※1	投資信託	○
ラップ口座	—	ETF	○ ※1
REIT	○ ※1	その他の上場商品	—
保険(投資リスクなし)	○	保険(投資リスクあり)	○
これら以外の商品	NISA(少額投資非課税制度)、iDeCo(個人型確定拠出年金)※3、THEO+[テオプラス]富山第一銀行※4、遺言信託※5等もご案内しております。		

※1 大和証券の金融商品仲介(対面およびネット)での取扱い

※3 三井住友海上火災保険株式会社および大和証券株式会社への仲介での取扱い

※5 三井住友銀行への紹介

※2 大和証券の金融商品仲介(ネット)での取扱い

※4 お金のデザインが提供する投資一任運用サービスの媒介での取扱い

## 3 商品ラインナップの考え方 (商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

- ◆ 商品導入時には、市場環境や顧客ニーズ、リスク・リターンを十分に検証し、導入後も定量評価(パフォーマンス)・定性評価(商品性等)の事後検証を行い、適宜商品ラインナップの見直しを図ります。
- ◆ お客様の知識や投資経験、投資方針についての確認を十分に行い、お客様のライフプランに基づき、リスク許容度に応じたふさわしい商品やサービスのご提案を行います。
- ◆ 商品導入後も、商品提供会社、業務提携会社と連携し、適切な情報提供に努めてまいります。

## 4 苦情・相談窓口

当行お客様相談窓口 ※1		0120-462-550
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室 ※1	0570-017109 (03-5252-3772)
	証券・金融商品あっせん相談センター(FINMAC) ※1	0120-64-5005
	生命保険協会 生命保険相談所 ※1	03-3286-2648
金融庁金融サービス利用者相談室 ※2		0570-016811 (03-5251-6811)

※1 月～金曜日(祝日および銀行の休業日を除く)

※2 平日10:00～17:00

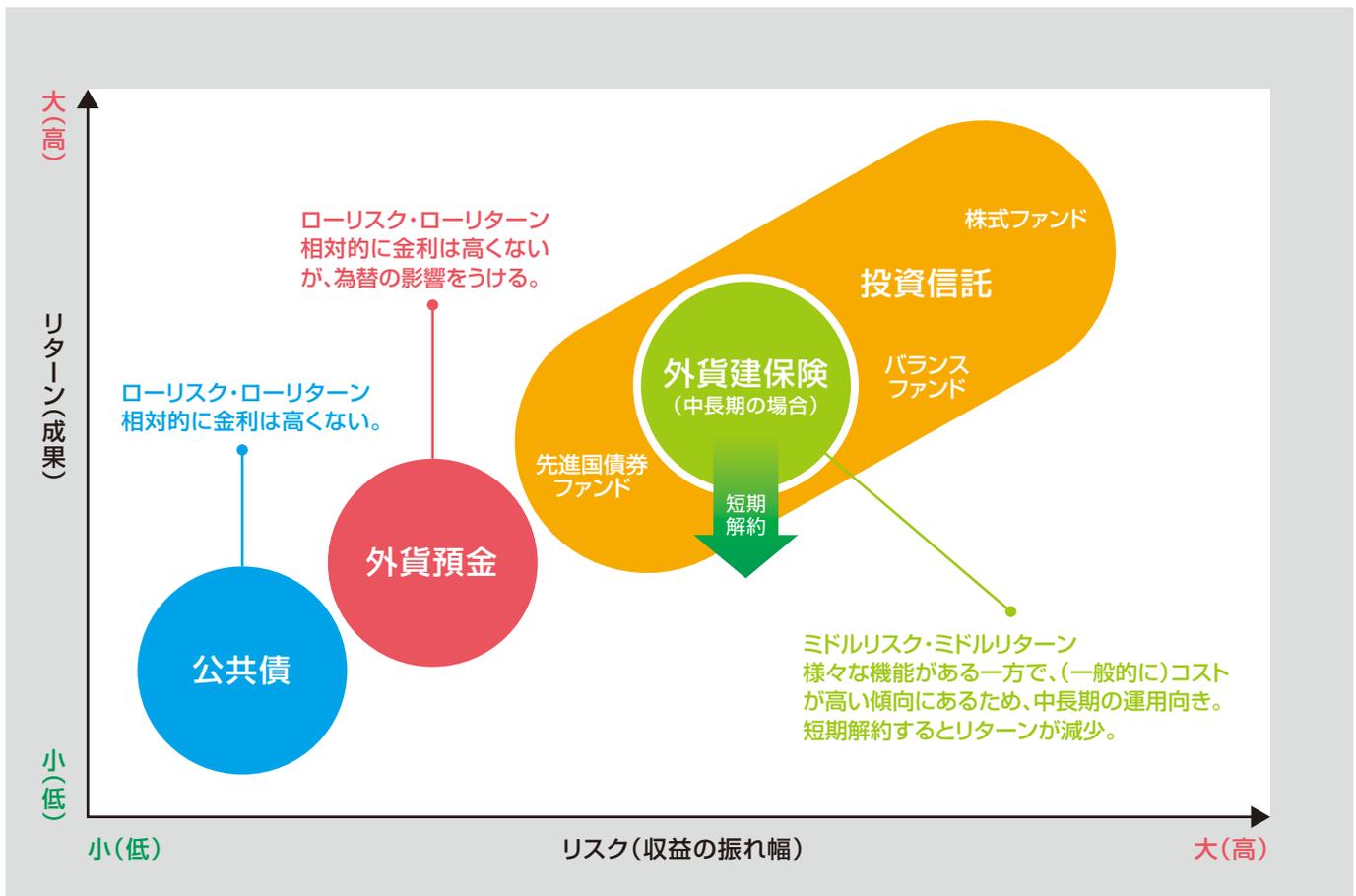
# 資産運用をお考えのお客さまへ ~さまざまな商品を比較してください~



		公共債 (個人向け国債・利付国債等)	外貨預金	投資信託	生命保険
運用方針のイメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>信用度の高い日本の国債や地方債で運用したい</li> <li>利金を受け取りながら運用したい</li> <li>少額から運用をはじめたい</li> </ul> など	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の金利で短期で運用したい</li> <li>少額から運用をはじめたい</li> </ul> など	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用はプロに任せたい</li> <li>いろいろな投資対象に投資をしたい</li> <li>少額から運用をはじめたい</li> <li>インターネットを利用して運用したい</li> <li>NISAを使いたい</li> <li>コツコツ積立をしたい</li> </ul> など	<ul style="list-style-type: none"> <li>保障もつけたい</li> <li>運用はプロに任せたい</li> <li>コツコツ積立をしたい</li> </ul> など
期間		短期～長期	短期	中長期	中長期
おもなリスク	各リスクの詳細については裏面を必ずご確認ください	価格変動リスク、信用リスク、金利変動リスク、その他(流動性など)のリスク	為替変動リスク	為替変動リスク、価格変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、その他(流動性など)のリスク	為替変動リスク、価格変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、その他(流動性など)のリスク
費用	購入時/契約時	—	為替手数料 (通貨ごとに異なります)	お申込手数料 (商品ごとに異なります)	契約時費用、為替手数料 (商品ごとに異なります)
	保有期間中/契約期間中	—	—	信託報酬(運用管理費用) (商品ごとに異なります)	保険関係費用 (商品ごとに異なります)
	換金時/解約時	中途換金調整額 (個人向け国債のみ)	為替手数料 (通貨ごとに異なります)	信託財産留保額 (商品ごとに異なります)	解約時手数料、為替手数料 (商品ごとに異なります)
	一般的なコスト	一般的にコストが低い			一般的にコストが高い
特徴	詳しくは、各商品のパンフレット・説明書などを必ずご確認ください	<ul style="list-style-type: none"> <li>利率・発行価格・償還日などの発行条件が決まっており、定期的に利金が受け取れる商品</li> </ul> ※「個人向け国債」の場合、価格変動リスクはありません。ただし、中途換金の際には、「中途換金調整額」が引かれます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本円を外国の通貨に替えて預け入れをする預金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまが投資された資金をひとつにまとめ、運用の専門家が複数の株式や債券などに投資・運用する仕組みの金融商品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保障機能と資産形成機能を備えた商品</li> </ul> ※据置期間中の死亡保障や解約払戻金をおさえて年金原資を大きくする仕組み ! 運用成果に応じて積立金額が変動する変額個人年金保険もあります

上図は、情報提供を目的に一般的な商品の概要を説明したものであり、個別の商品の説明を記載したものではありません。公共債(個人向け国債を除く)、外貨預金、投資信託、生命保険は元本が保証された商品ではありません。裏面の各商品の注意事項を必ずお読みください。また、ご検討にあたっては富山第一銀行の本支店にてご用意しております各商品のパンフレットなどの資料をお客さまご自身で必ずご確認ください。

## ご参考 リスクとリターンの関係 [イメージ]



- 上記の図は、一般的なイメージであり、すべての金融商品があてはまるものではありません。
- リスク・リターンは個別商品によって異なります。

## ご参考 各種ご案内

富山第一銀行の「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」等についてはこちらをご覧ください。



当行の「重要情報シート」(金融事業者編)はこちらをご覧ください。



当行の投資信託「重要情報シート」(個別商品編)はこちらをご覧ください。



# 各商品に関するご注意事項 必ずお読みください

## 公共債に関するご注意事項

- 公共債は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 発行体である国の信用状況の悪化等により、利払いや償還が滞ったり、不能になるリスク(デフォルト・リスク)があります。
- 発行から一定期間等、中途換金できない場合があります。
- 個人向け国債を中途換金する場合、受取金額は中途換金調整額の差引後の金額となります。
- 個人向け国債を除く円貨建て債券を中途換金する場合、市場価格での売却となりますので、売却損が生ずることがあります。また、市場環境の変化により流動性(換金性)が著しく低くなった場合、売却することができない可能性があります。
- 公共債のお取引は、クーリング・オフの対象にはなりません。
- 口座管理手数料は現在無料です。
- ご検討にあたっては、契約締結前交付書面等の書面の内容をご覧ください。

## 外貨預金に関するご注意事項

- 円を外貨にする際(預入時)および外貨を円にする際(引出時)は手数料(例えば、1米ドルあたり1円、1ユーロあたり1円50銭)がかかります(お預入れおよびお引出しの際は、手数料を含んだ為替相場である当行所定のTTS(預入時)、TTB(引出時)をそれぞれ適用します)。したがって、為替相場の変更がない場合でも、往復の手数料(例えば1米ドルあたり2円、1ユーロあたり3円)がかかるため、お受取の外貨の円換算額が当初外貨預金作成時の払込み円貨額を下回る(円貨ベースで元本割れとなる)リスクがあります。また、お預入れ、お引出し方法や通貨により手数料が異なるため、手数料等の合計額や、計算方法をあらかじめお示しすることができません。詳しくは、店頭までお問い合わせください。
- 外貨定期預金には、為替変動リスクがあります。為替相場の変動により、お受取の外貨元利金を円換算すると、当初外貨預金作成時の払込み円貨額を下回る(円貨ベースで元本割れとなる)リスクがあります。
- 外貨預金は預金保険制度の対象外です。

## 投資信託ご購入時のご注意事項

- 投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、当行で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は元本の保証および利回りの保証はありません。投資信託は組入れた国内外の株式や債券等の投資対象の価格変動、発行体の信用状況の変化、金利、為替相場の変動、およびその他のリスクにより、投資元本を下回ることがあります。これらのリスクおよび損失はお客様ご自身のご負担となります。
- 投資信託のお取引は、クーリング・オフの対象にはなりません。
- 当行は投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。
- 投資信託の購入・換金にあたっては各種手数料等(購入時手数料(お申込代金に対して最大3.3%〔消費税込み〕)、信託財産留保額(換金の基準価額に対して最大0.5%)等)をご負担いただきます。また、運用期間中には信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.42%〔消費税込み〕)、その他諸費用(監査報酬、信託事務諸費用、成功報酬等)を間接的にご負担いただきます。お客様にご負担いただく手数料はこれらの合計額となりますが、ファンド、運用状況、保有期間等により異なりますので、具体的に表示することはできません。詳しくは各ファンドの〔投資信託説明書(交付目論見書)〕、〔目論見書補完書面〕をご覧ください。

## 生命保険に関するご注意事項

- 保険商品は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また元本の保証はありません。
- 保険商品には、ご契約時の契約初期費用の他、ご契約後も、保険関係費用、運用関係費用、年金管理費用、解約控除等がかかるものがあります。
- 一部の商品については、国内外の株式や債券等で運用しているため、株価や債券価格の下落や市場金利の上昇、外国為替相場の変動等により、保険金額、年金額、給付金額等が払込保険料を下回るリスクがあります。
- 引受保険会社の業務もしくは財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額、給付金額等が削減されることがあります。
- 当行は保険の募集代理店であり、生命保険については保険契約締結の媒介を行います。保険契約締結の代理権はなく、保険契約はお客様からの保険契約のお申込みに対して、引受保険会社が承諾した場合に成立します。
- 保険商品のお申込の有無がお客様と当行との他のお取引に影響を及ぼすことはありません。
- 法令上の規制により、お客様のお勤め先や、融資のお申込状況によっては、お申込みいただけない場合があります。
- 商品のご検討にあたっては、「商品パンフレット」や「ご契約のしおり・約款」「契約概要」「注意喚起情報」(変額保険の場合はこれに加えて「特別勘定のしおり」)等をご覧ください。

本パンフレットについてのお問い合わせは、  
富山第一銀行の本支店へお気軽にどうぞ。

販売会社の概要 商号等 株式会社富山第一銀行 登録金融機関 北陸財務局長(登金)第7号  
加入協会 日本証券業協会  
連絡先 リテール部(076-461-3891)またはお取引のある支店にご連絡ください。

<https://www.first-bank.co.jp/>

2024年7月